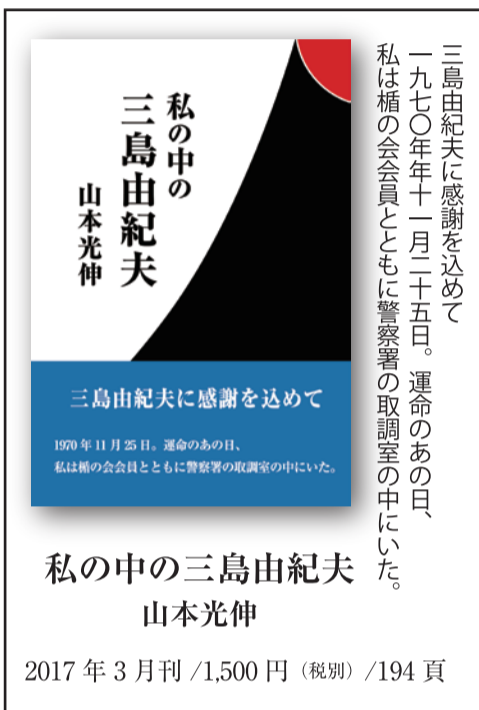


# 【おすすめ本ピックアップ】 私の中の三島由紀夫

なぜ今、三島由紀夫なのか。  
これからの日本を考え、個人の生き方を問う。  
著者に本書に対する思いをお聞きしました。



三島由紀夫に感謝を込めて  
一九七〇年十一月二十五日。運命のあの日。  
私は楯の会会員とともに警察署の取調室の中にいた。

私の中の三島由紀夫  
山本光伸  
2017年3月刊 / 1,500円(税別) / 194頁

## 本書を執筆したきっかけ

**編集部(以下「編」)** まず、この本を執筆された経緯から教えてくださいませんか？  
**山本光伸(以下「山」)** 本日は三島さんについて書く気はさらさらなかったんです。そんなことはどうも無理だろうと。ところが、ある方から、あなたにしか書けない三島由紀夫像があるはずだ、それを是非書き残すようにと言われたこと、それがきっかけですね。

**山** 何だったのですか？  
**山** お恥ずかしいけど、日本を守りたいとかそんな大それたことではなく、僕自身三島さんとやってみたいという、至って不純な動機でした。  
**編** なるほど。以前、映画監督コッポラが製作総指揮で撮った『Mishima』の中で、緒形拳が三島の割腹シーンを演じています。あれについてはどう思われましたか？  
**山** 僕は切腹や割腹には興味がありません。だって痛い話ですよ。

## いったん自分の口と懐から出たものは、二度と戻してはならない。

**編** なるほど。それでも実際に書くとなると、相当の覚悟が必要だったのでは？  
**山** たしかに。ただ、これまでに数十年のあいだ、僕の心のなかで燃りつづけてきた何か釈然としないものが、本書を踏すことで判然とするだろうという期待がありました。結果的に、僕の遺書のような形になりましたね。

**編** 「楯の会」に入会したいと思っただけでも、きつかけは何かありませんか？  
**山** たしかにそうですね。



【三島由紀夫(©野上透)】  
自死四ヶ月前(1970.7.6)  
自宅玄関にて

**山** ええ、本当にそうですね。ただ僕は子供の頃から、両親が生長の家の信者だったからでしょう。お金の価値を置かないというしつけを受けてきました。  
**編** ただし、僕は返さなくていいと一言も言っていないよ。僕が言っているのは、あくまでも貸す側の心構えです。普通は、成長するにつれて現実を知り、そんな思いもなくなっていくのでしょ。僕の場合は逆で、意地でもそれを押し通そうという生き方になってきました。

**山** ええ、僕の中では大アリ



【著者(山本光伸)】

**編** 命を肉体として捉えているということですね。  
**山** そういうことです。この世から「悪」をなくしようとすれば、善も同時になくなってしまうということ。単純な平和主義者にはどうもこのパラドックスが理解できないようです。  
**編** 三島さんは、そして僕も、基本的には精神論者なんです。精神の優位性と自由がなければ、死んだほうがましだと(たぶん)思っている。貸した金を取り返そうなんて愚の骨頂ですよ。あげたと思えばすむことです。百円でも一億円でも同じこと。嫌味に聞こえるかもしれないませんが、僕もこれまでに何千万というお金を貸してきました。しかしこちらがどれほど困窮しようとも、返してもらいたいと思っことはありません。  
**編** これは、単に金のことだけでなく、人生におけるすべてのことに通底していると思えます。だって、人のために何かしてあげることが本人の格別の喜びであって、恩着せがましく振る舞うようではすべてが台無し、お里が知れるじゃありませんか。

## 一番伝えたかったこと

**編** 最後に、本書で一番伝えたかったことは何ですか？  
**山** それは、物質から心を放せ、ということ。『命あつての物だね』という考え方は結局のところ、物質的な考えなんです。

### 『わっしょい倶楽部』 会員募集中！会費無料

「わっしょい倶楽部」は柏櫓舎を育ててくださる皆様のサポート組織です。北の地、札幌から私たちと一緒に新しい出版文化を創造しませんか？

会員(会費無料)の皆様には「柏櫓舎航海日誌」やイベント情報をお届けいたします。様々な会員特典もご用意しています。入会ご希望の方は、住所、氏名、ご連絡先を明記の上、弊社 HP またはお電話でお申し込みください。

〈入会申込 URL〉  
<http://www.hakurosy.com/wclub.html>  
〈入会申込 TEL〉  
柏櫓舎：011-219-1211

### 本の購入がさらに便利に！ 柏櫓舎 ネットショップ

<https://hakurosy.ocnk.net/>

商品は随時更新！  
簡単＆便利な  
『柏櫓舎ネットショップ』を  
ぜひご利用ください。

パソコンやスマートフォンから、いつでも簡単に本をご注文いただける、『柏櫓舎ネットショップ』がオープンしました！従来の銀行振込だけでなく、クレジットカードやネットバンキング、電子マネーでのお支払いも可能です。

### あなたの本をつくりませんか？ 柏櫓舎の自費出版

小説、エッセイ、写真集、詩集、絵本、俳句集 etc...

今までに皆様の100を超える想いを形にしてみました。良心的な料金設定、丁寧な編集・校正、製品の完成度に自信があります。

- 多彩なオプションで、あなたの思い通りの本を製作いたします。
- お見積り無料。原稿が完成していない段階でも、どの程度の費用がかかるか丁寧に説明いたします。
- 俳句や詩の会の会報、冠婚葬祭の記念誌、定年後の自伝等、あらゆるニーズにお応えいたします。
- 柏櫓舎では、自費出版だけでなく、書店に流通する通常出版や共同出版も行っており、常に原稿持込みを募集しております。

資料請求等  
お気軽にお問合せください。011-219-1211 担当 山本 哲平  
<http://www.hakurosy.com/elk2/index.html>

### 柏櫓舎学校事業部 翻訳家養成校 インターカレッジ札幌

体験受講・実力判定 無料！入校随時受付中！

英語が好き  
日本語が好き  
本が大好きな方、  
文芸翻訳家養成校が  
札幌にあります。

- ★インターカレッジ札幌では、第一線で活躍する翻訳家が少人数クラスで指導します。
- ★卒業生には(株)柏櫓舎及び他出版社と連携して、仕事の紹介、提供をしています。
- ★当校は随時入校可。実力判定テスト(無料)、クラス見学(無料)をお試しください。

インターカレッジ札幌 担当 青山万里子  
受付時間11時～18時(土日祝除く)  
TEL 011-219-1772 FAX 011-219-1210  
E-mail: info@intercollege.co.jp HP: www.intercollege.co.jp